

東北のみちを考える懇談会の概要

平成14年5月16日

福 島 県

「東北のみちを考える懇談会」

地域と利用者の立場から「東北のみちの将来像」について考えます

各分野の方々が集まり、これからの「東北のみちのあり方」について議論

「東北のみちを考える懇談会」について

近年の社会情勢を踏まえ、これからの東北地方のより良い地域づくりとそれを支える道づくりについて検討、提言いただくとともに、東北地方整備局、東北六県等が連携して策定する「東北のみちの将来像」について、幅広いご意見やご助言を頂くために、「東北のみちを考える懇談会」を設立しました。

「東北のみちを考える懇談会」開催状況

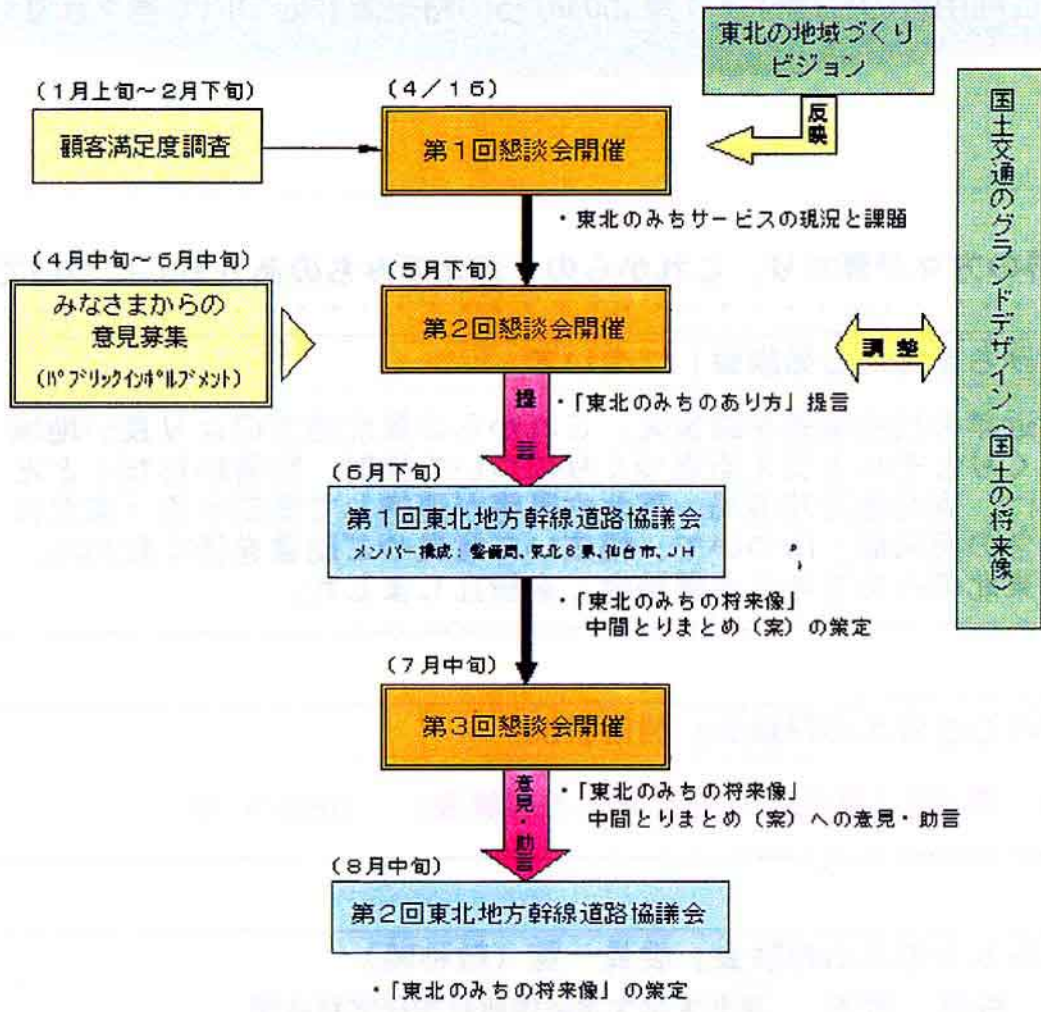
new 第1回「東北のみちを考える懇談会」 2002/4/16

「東北のみちを考える懇談会」委員一覧（敬称略）

座長	森杉 壽芳	東北大学大学院情報科学研究科教授
委員 (五十音順)	一力 雅彦	河北新報社代表取締役専務
	牛尾 陽子	藤崎快適生活研究所専務取締役所長
	北村 真夕美	(株)青森経営研究所代表取締役社長
	佐々木 孝	NPO法人秋田バリアフリーネットワーク理事長
	菅原 徳平	岩手県トラック協会会長
	坪井 孚夫	福島商工会議所会頭
	芳賀 滋彌	(社)東北経済連合会専務理事
	水戸部 知巳	(財)山形県企業振興公社プロジェクト・マネージャー

今後の予定

今後の進め方について（フローチャート）



各県の「みちを考える懇談会」の開催状況

青森県
秋田県

岩手県
山形県

宮城県
福島県

東北地方整備局道路IR
サイトへ

第1回「東北のみちを考える懇談会」

日：平成14年4月16日（火）
 時：15:30～17:30
 会場：ホテル仙台プラザ・3F 松島
 仙台市青葉区本町2-20-1



「東北のみち」について
 みなさまからの意見を
 募集しています

座長	○ 森杉 壽芳	東北大学大学院情報科学研究科教授
委員 (五十音順)	○ 一力 雅彦	河北新報社代表取締役専務
	○ 牛尾 陽子	藤崎快適生活研究所専務取締役所長
	○ 北村 真夕美	(株)青森経営研究所代表取締役社長
	○ 佐々木 孝	NPO法人秋田バリアフリーネットワーク理事長
	○ 菅原 徳平	岩手県トラック協会会長
	○ 坪井 孚夫	福島商工会議所会頭
	○ 芳賀 滋彌	(社)東北経済連合会専務理事
	○ 水戸部 知巳	(財)山形県企業振興公社プロジェクト・マネージャー

○は出席した委員

議事次第

1. 開 会
2. 挨拶 東北地方整備局 道路部長
3. 懇談会設立について 資料-1
4. 座長挨拶
5. 議 事
 - ①東北の道路整備進捗状況 資料-2
 - ②道路行政の全国的な動き 資料-3
 - ③東北のみちサービスの現況と課題 資料-4-1 資料-4-2
 - ④その他
6. 閉 会

議事要旨

- ・ 座長に森杉壽芳氏（東北大学教授）を選出。

冒頭、森杉座長のあいさつの要旨は以下のとおり。

道路行政の隘路は次の2点。

1. GDPを高める観点からの隘路
2. 生活を豊かに、便利に、楽しくするという道路の機能を発揮しているかという隘路

東北地方の道路ネットワークの現況がどうであるかというフィジカルプランニングに焦点を当てて長期計画について議論をすすめたい。

各委員から出された主な意見は以下のとおり。

- ・ 道路整備において「一定の量的ストックは満たされた」との基本政策部会中村部会長の現状認識が示されているが、東北ではまだ足りず、賛同できない。

- ・ 道路の優先順位のつけ方は、日本の中での東北の位置付けをきちんと理解頂きつつ、地域に光が射すような形でないと地域はますます衰退する。

- ・ 東北の現状を直視し、将来を見据えながら道路の役割を考えるべきであり、そのためには、客観的なデータの積み上げが必要。

- ・ 大切なことは道路をどれだけつくるか、伸ばすかという発想ではなく、道路の役割をはっきりと打ち出し、付加価値や活用方法について十分に検討すること。

- ・ 現在できている高速道路を連結させない限り効率的な交通網とならず、利用されない。それまでは道路特定財源と料金プール制を堅持し、国幹審で認められた9342kmは最低限整備すべき。

- ・ 高速道路はつながって初めて効果がある。細切れのままではこれまでの投資が無駄になってしまう。量で議論するのではなく、過去の投資が十分生きているかという視点が必要。

- ・ 道路公団が民営化され固定資産税や法人税を支払うようになれば、今後、高速道路の整備はまったく行われなくなってしまう。

- ・ 社会資本整備という視点において、豪雪・地吹雪地帯が多い東北地方に重点投資が必要である。

- ・ 過疎・少子高齢化社会が進み、救急医療・防災・産廃処理等の面で広域的な連携が必要となる中、道路の果たす役割は東北だからこそ大きい

ということをはっきりと打ち出すべき。

・物流にとって高速道路と道路整備は命綱であるので、トータルとして収入が上がるような料金体系を検討し、料金の値下げなどの工夫をすべき。高速道路を使いたくても使えないという現象を回避する工夫が求められている。

・渋滞、環境問題を考えたときに、都市内の小型トラックの効率化を図ることも大事。

・「全国一律の均衡ある発展」が必要か、それとも「個性ある地域づくり」のために重点投資をするのかが大きな分岐点であるが、地方の切り捨てにならぬよう「均衡ある国土の発展」という考え方に立つべき。

・個性をもった地域づくりに向け、どの程度のブロック形成でまちづくりが必要か、それに必要な道路はという順序で議論を進めたい。

・不便なところに住みながらも、日本の一端を担っている方々のことも考え、大きな視点で道路計画のあり方を検討すべき。

・渋滞対策という視点では、治水対策と同じように交通の上流から下流まで一貫して考慮すべき。

・一般道を含む生活道路の問題が、なおざりになってきているのではないか。車中心から車抑制・生活道路復権という視点も大事。

・地球温暖化への対応等、環境問題に対する道路行政の姿勢を明確にするべき。

・従来どおりの発想ではなく、地域住民、地方の声を重要視した施策を進めるべき。

・本懇談会において意見をとりまとめ、社会資本整備審議会道路分科会に意見具申してもいいのではないか。

配布資料一覧

資料1. [本懇談会の設立について](#) (PDF162KB)

資料2. [東北の道路整備進捗状況](#) (PDF1,206KB)

資料3. [社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会](#) (PDF648KB)
(第1回～第3回)

資料4-1. [東北のみちサービスの現況と課題](#)

- 1. [東北地方の現状と課題](#) (pdf1, 206kb)
- 2. [東北地方のみちサービスの現状と課題](#)
(PDF1, 806KB)

- 資料4-2. [東北のみちサービスに対する意見](#) (PDF3, 556KB)
- 参考資料-1. [今後の高速自動車国道の整備のあり方](#) (PDF1, 488KB)
- 参考資料-2. [東北地方の道づくり懇談会 \(H8. 3～H9. 3\) 議事概要](#)
(PDF256KB)
- 参考資料-3. [「東北の地域づくりビジョン」中間報告について](#)

みなさまからの意見募集

→こちらをクリック

[東北のみちを考える懇談会トップへ](#)

[東北地方整備局道路IRサイトへ](#)

(参考)

「東北のみちを考える懇談会」の今後のスケジュール(案)

